事業基本計画書

2024年7月5日

長野県知事 様

住 所 長野県長野市大字中御所字岡田178番地8 氏 名 八十二Link Nagano株式会社 代表取締役 社長 神谷 健一

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第9条第1項(第21条第3項、第27条及び附則第6項において準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発	電施設の設置の場所	別紙のとおり				
事業区域	の位置及び面積	別添「位置図及び事業区域図」参照 28,000㎡				
太陽光発	電力施設の合計出力	1,625.0kW (太陽電池出力 2,208.96kW)				
太陽光	発電電力の用途	☑売電 □自家消費 設備ID(なし オフサイトPPA方式により長野県内の企業 に電力売電予定)				
業の内容及び	設置工事着手予定日	2024年9月23日				
容及び 実施予	設置工事完了予定日	2025年10月14日				
定期間	運転開始予定日	2025年10月14日				
	施設撤去予定日	2045年10月14日				
太陽光発 る計画	電施設の設置に関す	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照				
太陽光発 る事項	電施設の構造に関す	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる仕様とする。				
景観の保討に関す	全のための措置の検 る事項	別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照				
討に関す※(環境	全のための措置の検 る事項 記慮区域に太陽光発電施 よる場合に限る。)					
維持管理	計画に関する事項	別添「維持管理計画」参照				
関係市町	対長及び関係住民の	範 関係住民:事業区域からおおむね100m以内の土地又は 選築物を所有する者				
範囲並び	にその根拠	根 麻績村役場振興課に確認(麻績村の条例に準拠) 「麻績村における再生可能エネルギー発電設備設置事 拠 業と環境等との調和に関する条例および施行規則」				

事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日時	2024年7月24日(水)			
	場所	説明会希望者は2024年7月22日(月)までにご連絡ください。			
意見の提出先		ぶ送提出先】 80-8682 F県長野市大字中御所字岡田178番地8 - 二Link Nagano株式会社 電力事業部宛て ミ子メール等】 tomer@821n.co.jp			
土地の権原の取得予定	地主	こより賃借予定			
地域社会に資する事項	災害時に使用できる非常用発電機を公民館等に設置などを 検討中				
備考	連絡先 八十二Link Nagano株式会社 (電話番号) 026-225-6482 (FAX番号) 026-225-6483 (電子メールアドレス) <u>customer@821n.co.jp</u>				

注1 該当する□内にレ印を記入すること

- 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在す る土地の地番全て記載すること。
- 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 (平成23年法律第108号) 第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載 すること。
- 6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

開発区域内の地番一覧表 所在地

整理番号	町村	大字	字	番地	地目
1	東筑摩郡麻績村	麻	あとつかへ	5051-2	雑種地
2	東筑摩郡麻績村	麻	池の平	5102-2	雑種地
3	東筑摩郡麻績村	麻	池の平	5102-8	雑種地
4	東筑摩郡麻績村	麻	蔵次郎	5137-3	雑種地
5	東筑摩郡麻績村	麻	蔵次郎	5137-8	雑種地
6	東筑摩郡麻績村	麻	池の平	5157	雑種地
7	東筑摩郡麻績村	麻	蔵次郎	5163-1	雑種地
8	東筑摩郡麻績村	麻	蔵次郎	5171	雑種地
9	東筑摩郡麻績村	麻	蔵次郎	5175-5	雑種地
1 0	東筑摩郡麻績村	麻	池ノ下	5507-8	雑種地

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	□調整池 □管理用道路	□沈砂池 □その他(☑排水設備	□擁壁)					
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること		·画対象民有林 ·壊危険区域	□地すべり防止区域 □土砂災害特別警戒区域						
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	□国立公園・ □長野県自然 □水道水源保	□国有林・地域森林計画対象民有林 □国立公園・国定公園・長野県立自然公園 □長野県自然環境保全地域 □郷土環境保全地域 □水道水源保全地区 □水資源保全地域 □希少野生動植物の生息地等保護区 □鳥獣保護区 ☑該当なし							
工程表	別添「八十二	麻績発電事業 コ	[程表] 参照						
工事車両の運行計画	運行時間	数(延べ) (:: :八十二麻績発電	平日 8:00~17:0	0(約週5日)					
	盛土の有無	有・無	想定盛土量	1,600 m ³					
造成工事	切土の有無	有・無	想定切土量	1,600 m ³					
足/火工 尹	事業区域外が	らの搬入量		— m³					
	事業区域から	の搬入量		1,600 m ³					
排水処理設備の有無		有	· 無						
かいんくて吹加い 日 ツ	排出経路	配置図に記載の	とおり						
送電設備	□鉄塔	☑電柱	□地下埋設						

景観の保全のための措置の検討状況書

項目		検討事項	配慮する内容			
	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台ではないが、 周辺に林地が広がる敷地 であるため、土地の造成 や樹木の伐採は必要最小 限に留める計画とした。			
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成(シミュレーション)等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	公共的な眺望点から視認できる場所には位置していないが、約600m離れた公民館付近の道路からの事業用地の方向を示した図を作成した。			
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接 する場合は、太陽電池モジュールを境界か ら一定距離後退させる。	林地に囲まれた場所に位置しており、主要な道路には隣接していないが、 隣接道路から10m~12m後 退させた。			
太陽電池モジュール		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する 等、大規模な平滑面が連続することを避け る。	グラウンド、テニスコート、駐車場ごとにパネルを配置すること、アレイ間隔距離を2.2mとすることにより大規模な平滑面が連続することを避けた。			
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季の積雪を勘案し、パネルの最低部分を0.8m、 最高部分を約1.6mとした。			
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える 場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面 積を極力抑える。	隣接する道路から見える ため、パネルの傾斜角度 を10度とした。			
		(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	地盤強度を考慮し、スク リュー杭基礎を採用予 定。太陽電池モジュール の向きや傾斜は一定の規 則性を持たせて配置し た。			
	意匠	(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の 山並み、建築物の屋根等と極力整合させ る。	周囲の山並みに影響が少なくなるようパネルの傾斜角度を10度とした。			
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路 等から見えにくくする。	パネルの傾斜角度を10度 とし、道路から裏面が見 えにくくした。			

項	目		検 討 事 項	配慮する内容			
		す等、オ	けのものを選択するか防眩処理を施 に陽光の反射を低減する対策を行 、素材の結晶が目立たないものを 。	光の反射による眩しさを 抑える仕様の製品を選択 した。			
太陽電池 モジュール	材料·		、濃紺を基本とし、低明度かつ低彩 たないものとする。	濃紺を選択した。			
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	ステンレス製とし、低反射の素材のものを選択した。			
			(2) 太陽電池モジュールと同系色 を用いる。	彩度のない、銀色とした。			
		(1) フェン に配慮す	ス等については、色彩、形態・意匠る。	フェンスの色は景観に配慮し、ダークブラウンと した。マンセル値:3.7YR 2.0/0.3			
附帯施	設•		泉類については、極端に増加させな 低減に努める。	必要最低限の本数とする よう検討した。			
附属が			パワーコンディショナー及び変圧器 設備については、色彩等に配慮す	架台:マンセル値グレー N7.5程度、彩度無し 色、PCS:マンセル値5B3/ 1と5PB8/0.5の2色、変圧 器等の付属設備:マンセ ル値ベージュ5Y7.0/1.0色 とした。			
敷地の	緑化	できるよ	画にあたっては、効果が早期に発揮 う、根巻きを行った苗などの使用 るとともに、植栽間隔や苗木の大 慮する。	植栽計画については関係 行政、地元と協議のう え、必要に応じて行う予 定。 植栽計画については関係			
			選定にあたっては、外来種及び低木 重を避け、地域に適した植生とす	行政、地元と協議のう え、必要に応じて行う予 定。			
その他		反射光の 向き、傾 措置につ (2) 施設及で	規模が大きく主要な道路や住宅地に 影響が懸念される場合は、配置や 斜の角度、材料、植栽等の遮へい いて検討する。 び敷地内は、定期的に保守点検を行 適切に維持管理を行い、景観の保 る。	隣接する道路への反射光 の影響を考慮し、パネル の傾斜の角度を10度とした。 20年間の維持管理計画を 立て、それに沿って管理 を行う。			
			(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観 育成基準への適合を確認する。				

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工 夫してください。

維持管理計画

作成日 2024年7月5日

		17/21 2021 - 1 / 1 / 1						
太陽光発電施設の設 置場所	長野県東筑摩郡	長野県東筑摩郡麻績村麻字池ノ平 5102-2 他 9 筆						
事業者名(法人にあっ	長野県長野市大	字中御所字岡田 178 番地 8						
ては、主たる事務所の	八十二 Link Na	gano 株式会社						
所在地、名称、代表者	代表取締役 社	長 神谷 健一						
の氏名、住所及び連絡	026-225-6482	2						
先)								
	氏名及び住所	株式会社シーテック						
保守点検責任者		名古屋市緑区忠治山 101						
	電話番号	052-710-9282						
合計出力	1,625.0kW(太阳	陽電池の合計出力 2208.96kW)						
維持管理の内容	別紙のとおり							
施設撤去予定日(事業	2045年10月14	4 日						
終了予定日)								
損害保険の加入状況	☑有 □無	Ę						
	(保険内容 自	然災害 電気的・機械的事故の対応)						
太陽光発電施設を撤	•太陽光発電施	i設の処分は廃棄物処理業者に依頼する予定						
去する際の対応								
維持管理計画及び状	情報開示請求	があった場合は速やかに開示する						
況の公表方法								
-								

- ※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。
- <太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置 の内容>
 - ○強風により飛散
 - ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような 劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施する。
 - ○豪雨による水害
 - ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施する。また、台風や豪雨後には、定例巡視とは別に土砂崩れ等が発生していないか、排水設備の異常がないか等巡視を実施する。
- < 土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>
 - ・事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関(経済産業省、県、村など) に連絡をする。

・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに対処し、二次災害が発生しないよう対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の	点検箇所	点検項目	点検	点検	点検
	有無			方法	頻度	実施日
	Ø	太陽電池モジュー	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年2回	
	有無	ル	端子箱に破損、変形がないか		年2回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がな		年2回	
			V _o			
	Ŋ	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年2回	
	Ø	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損が		年2回	
			ない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年2回	
1.	\square	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定され		年2回	
太陽電			ている。			
池ア	\square	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続さ		年2回	
			れている。			
			接続部に緩み、破損がない。		年2回	
	\square	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が		年2回	
			進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損が		年2回	
			ない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの		年2回	
			影響がない。			
			ボルト、ナットの緩みがない。		年2回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年2回	
	\square	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年2回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けら		年2回	
接続			れている。			
箱	図 コネクタ ケーブル 図 電線管 図 接地線 図 接地線 図 な体 図 配線 図 本体 電影 図 和 電影 図 国 の の の の の の の の の	雨水、じんあい等の侵入がない。		年2回		
	\square	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正		年2回	
			しく固定されている。			
雷	Ø	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがな		年2回	
遮断器			<i>١</i> ٠,			
器			配線に著しいきず、破損がない。		年2回	
	Ø	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形が		年2回	
<u>~</u> 1			ない。			
デ			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けら		年2回	
1			れている。			

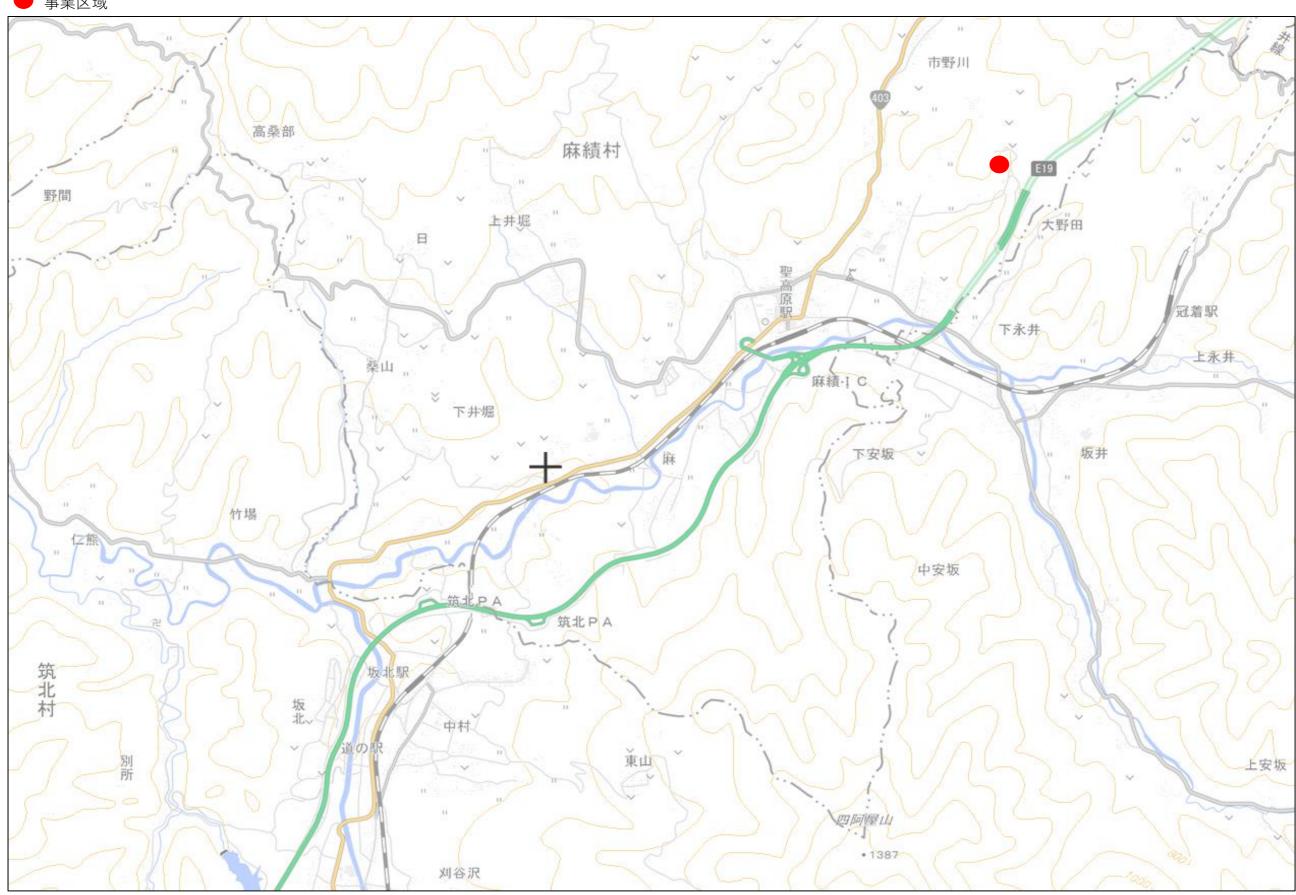
		コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水な	年2回	
		どの侵入がない。		
		運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない	年2回	
Ø	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、	年2回	
		破損などがない。		

附带施設

可带施設	·					
対象	該当の	点検箇所			点検	点検
	有無		·	方法	頻度	実施日
法面	Ø	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
· 擁 壁			排水溝の損傷がない。		年2回	
壁			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。		年2回	
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。		年2回	
			大量の湧水(濁り)がない。		年2回	
			崩落がない。		年2回	
			上部斜面からの土砂流出がない。		年2回	
	Ø	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。		年2回	
			排水溝の損傷がない。		年2回	
			法尻の崩落がない。		年2回	
			オーバーフローによる洗掘がない。		年2回	
			大量の湧水(濁り)がない。		年2回	
			湧水箇所の軟弱化がない。		年2回	
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排	Ø	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年2回	
水設備			亀裂、ずれがない。		年2回	
VIII			破損がない。		年2回	
			排水設備外への漏水がない。		年2回	
調整		提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水が			
整池			ない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
<u> </u>	1	I	1	l		

			草木の繁茂がない。	
		基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩	
			壊がない。	
		余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがな	
			l'.	
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。	
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きが	
			ない。	
		放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。	
			吞口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。	
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。	
			油等の浮遊がない。	
		貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。	
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。	
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。	
			油等の浮遊がない。	
			下流河川(周辺)に洗掘、崩壊がない。	
防護柵、	Ø	フェンス (防護柵)	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年2回
柵、	Ø	標識(事業計画、	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損	年2回
塀		注意喚起)	がない。	
	Ø	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年2回
進	Ø	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年2回
進入路・			事業地周辺への土砂の流出がない。	年2回
管理道			雨水等による洗掘がない。	年2回
道			草木の繁茂がない。	年2回
設置	Ø	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。	年2回
設置地盤			段差、傾斜がない。	年2回
			空洞の発生(土砂の流出)がない。	年2回
			隆起の発生がない。	年2回
設業	Ø	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年2回
設置地盤			事業地周辺への土砂の流出がない。	年2回
			雨水等による洗掘がない。	年2回
			草木の繁茂がない。	年2回

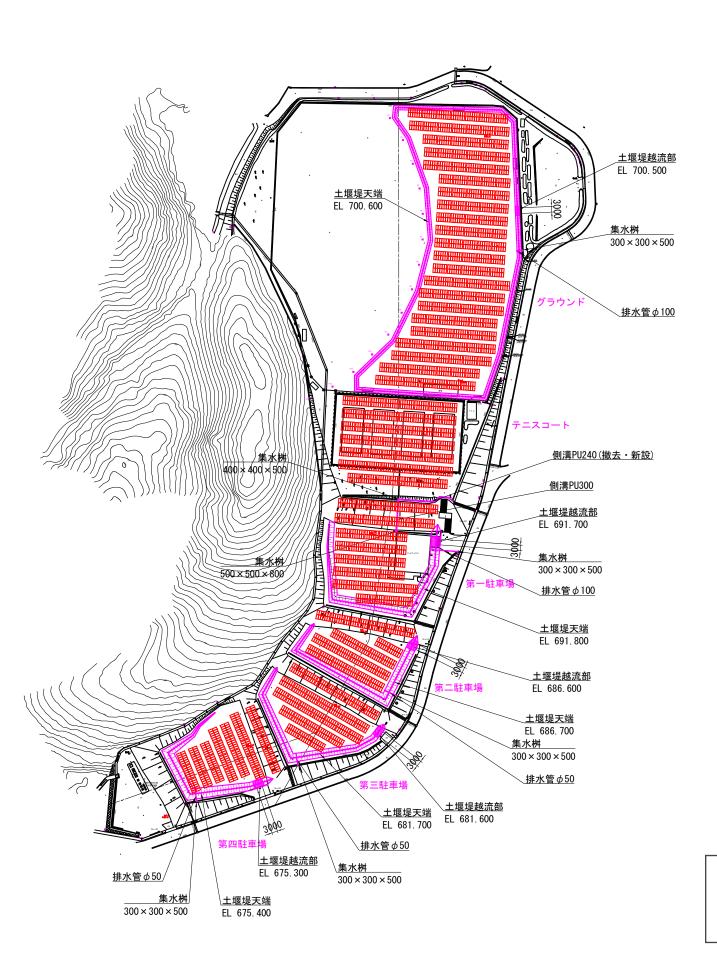




事業区域図



機器配置図



モジュール出力:2,208.96kW(590W×3,744枚)

発電所出力:1,625.0kW (125kW×13台)

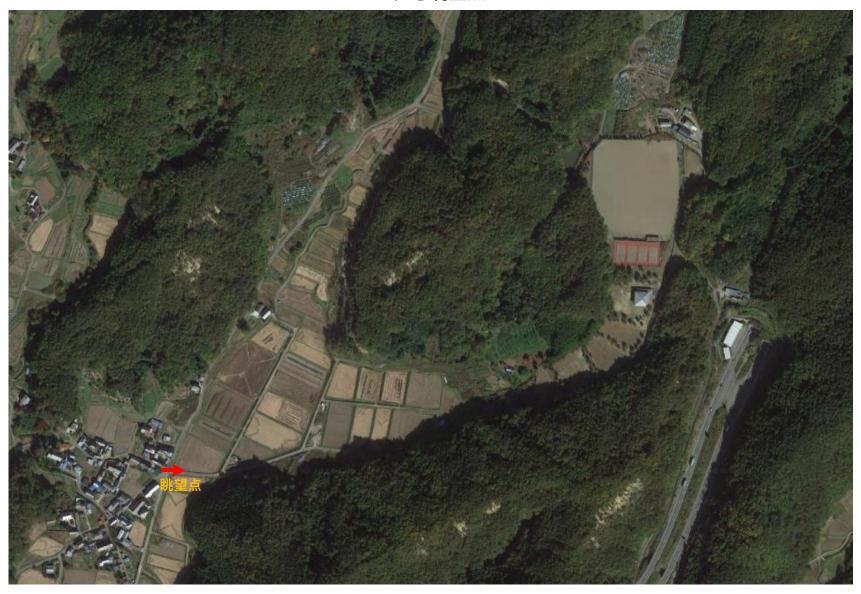


八十二麻績発電事業 工程表

※冬季は積雪状況を考慮し、作業を実施

※冬季は積雪状況を考慮し、作業を実施														
2024年 8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	•													
	•													
		4			—									
		Ì												
				+										
								+						
														*
	2024年	2024年 0日	2024年 0日 10日	2024年 0日 10日 11日	2024年 0日 10日 11日 12日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日 4日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日 4日 5日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日 4日 5日 6日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日 4日 5日 6日 7日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日 4日 5日 6日 7日 9日	2024年 0日 10日 11日 12日 2025年 2日 2日 4日 5日 6日 7日 0日 0日

任意眺望点



任意眺望点からの景観

